

会社情報

会社の概況 (2022年3月31日現在)

商号 ソースネクスト株式会社
英文社名 SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日 1996年8月2日
本社所在地 〒105-7133

資本金 3,695百万円
従業員数 単体149名(臨時11名含む)
連結154名(臨時11名含む)

事業内容 パソコン・スマートフォンソフトウェアおよび
ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2022年3月31日現在)

代表取締役会長 兼 CEO(最高経営責任者) 松田 憲幸

代表取締役社長 兼 COO(最高執行責任者) 小嶋 智彰

取締役専務執行役員 藤本 浩佐
取締役常務執行役員 兼 CFO(最高財務責任者) 青山 文彦

社外取締役 久保利 英明
社外取締役 安藤 国威
社外取締役 中井戸 信英
常勤監査役 廣瀬 正明
社外監査役 小林 哲也
社外監査役 高野 角司

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 361,120,000株
発行済株式の総数 136,297,600株
株主数 52,794名

企業理念

社名の意味
「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション
製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

ビジョン
世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい、喜ばれる、面白い

バリュー
お客様の声を聞く
新しい市場を創る
挑戦を楽しむ

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

(株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について)
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告の方法により行ないます。
(<https://www.sourcnext.com/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

証券コード 4344
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場


www.sourcnext.com

ソースネクスト株式会社
〒105-7133
東京都港区東新橋一丁目5番2号
汐留シティセンター33階

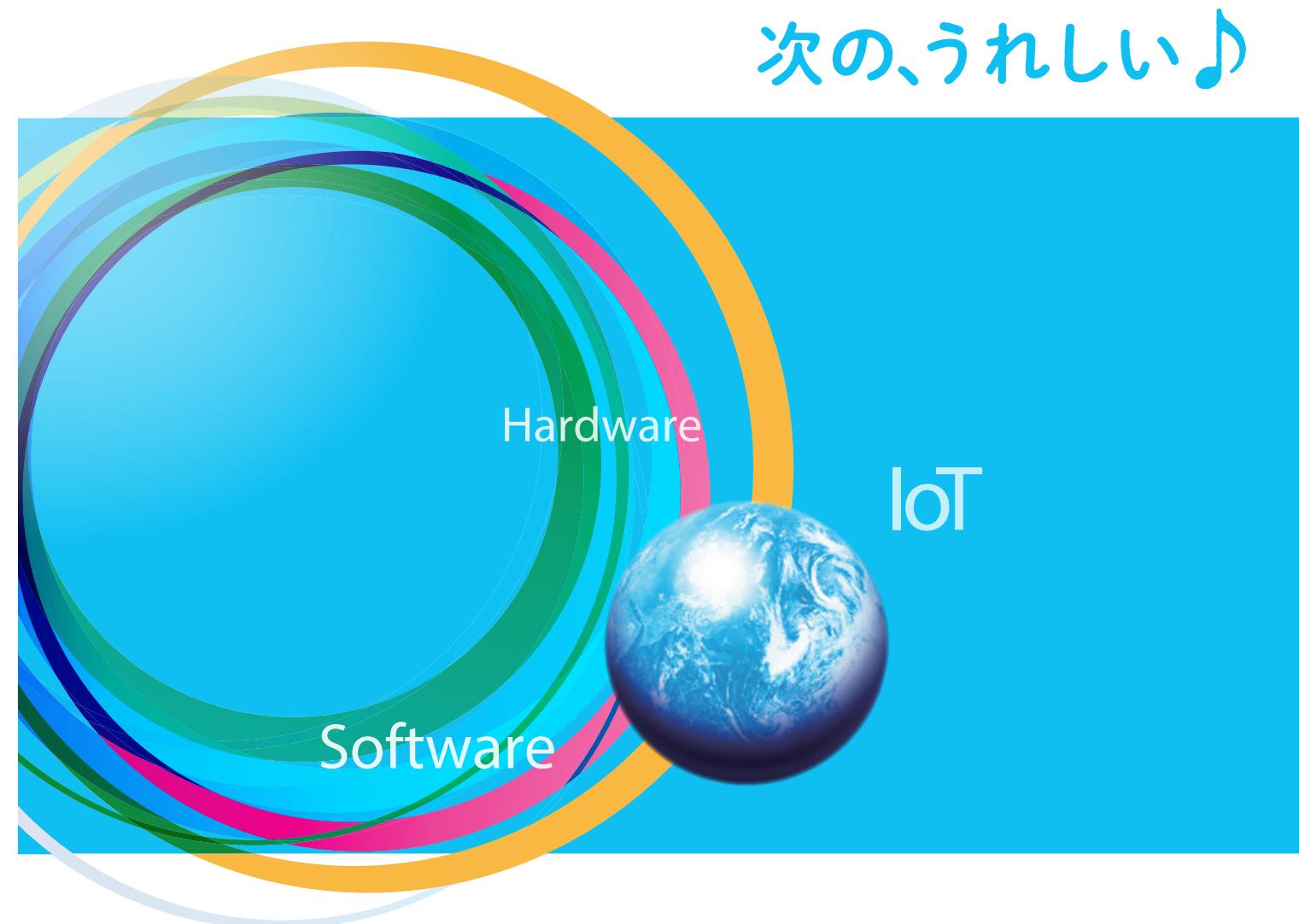
●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



ソースネクスト株式会社
2022年3月期事業報告書

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

次の、うれしい♪



ポケットークを グローバルに展開



代表取締役会長 兼 CEO

松田 憲幸

代表取締役社長 兼 COO

小嶋 智彰

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、従来のパソコンソフトやスマートフォン・アプリからIoT製品へと事業領域を拡大して参りました。

当連結会計年度では、当社グループの主力製品であるAI通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」は海外、特に米国における販売実績が引き続き好調に推移し、前年比 234.9%増加と高い成長性を見せました。その他のIoT製品については、会議用360度webカメラ「Meeting Owl Pro(ミーティングオウル プロ)」の累計出荷台数が2万台を突破し、さらに2022年4月には360度webカメラの自社ブランド「KAIGIO CAM360」を発表するなど、テレワーク関連製品を拡充しています。

ポケットークは海外での販売が前年を上回り成長したものの、日本における海外旅行者ならびにインバウンド事業者向けの需要が戻らなかったこと等を要因として、当連結会計年度の売上高は103億7百万円(前期比19.8%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は35億2百万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益1億91百万円)となり、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますこととなりました。大変厳しい決算となり、皆様には深くお詫び申し上げます。

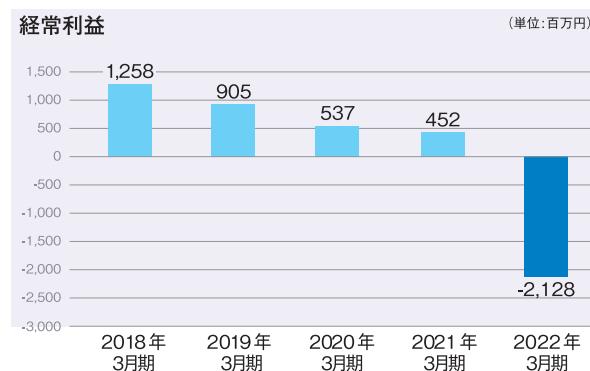
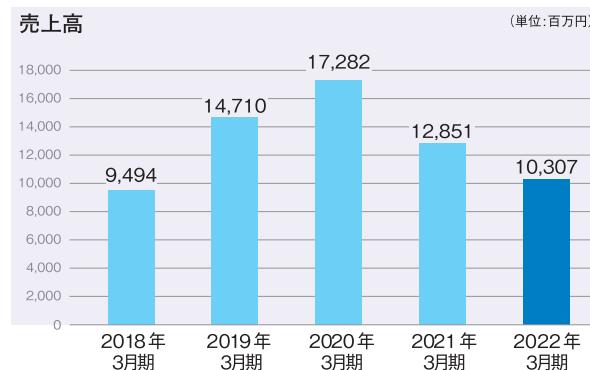
2022年2月にポケットークブランドの世界的な認知向上を図り、当該事業のグローバル展開を加速させるために必要な経営リソースの獲得と迅速な意思決定体制の構築を進めることを目的として、「ポケットーク株式会社」を分社化によって新規設立いたしました。当社のスローガン通り、お客様に「次の、うれしい♪」を感じていただける製品をつくりだし、世界市場への展開を目指すとともに収支改善に向けて邁進して参りますので、皆様により一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年6月

連結業績ハイライト

決算の
ポイント

- ・当期純利益が前期比減(要因:新型コロナウイルス感染症の影響長期化、パソコン出荷台数減少、来期戦略に向けた評価損の計上)
- ・連結子会社のポケットーク社において14.1億円の資金調達



2023年3月期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	配当金
第2四半期	5,015 百万円	△1,225 百万円	△1,275 百万円	△1,225 百万円	△9円04銭	—
通期	12,795 百万円	△850 百万円	△945 百万円	△995 百万円	△7円34銭	0円00銭

言葉の壁をなくす

相手の言葉を話せなくても、互いに自国語のままでも対話できる多言語のAI通訳機「ポケットーク」。開発を開始した2018年以来、語学学習、ハンズフリー化、多言語間での同時チャットなど、絶え間ない進化を重ね、2021年には、リモート会議の画面に話したことを相手言語に翻訳して瞬時に字幕で表示するソフト「ポケットーク字幕」が誕生。そして、2022年2月1日。さらなる進化のために、「ポケットーク」ブランドの事業を、簡易新設分割により当社の完全子会社「ポケットーク株式会社」を設立しました。言葉の壁をなくし、人々が国境を越えて互いが深くわかり合える世界を実現するために。

海外に拡大するポケットーク

2021年3月には中国で、4月にはアラブ首長国連邦での販売を開始。2018年から販売をしている米国では、販売台数実績が前期比234.9%増加し、拡大を続けています。

ウクライナ避難民への支援で ポケットークを寄贈



在日ウクライナ大使館や、兵庫県をはじめとした国内の受入支援や、ポーランドの国境付近で配布しました。

広がる、ポケットーク



ポケットークシリーズに、画期的な新機能を無料アップデートで提供しました。同時にコミュニケーションできる「グループ翻訳」で、ミッションに掲げる「言葉の壁をなくす」がさらに進化しています。

AI通訳機「ポケットーク」

おかげさまで出荷台数
90万台突破

2017年12月～21年9月14日/
初代「ポケットーク」、
「ポケットーク W」、「ポケットーク S」及び
「ポケットーク S Plus」でサンプル等除く



グループ翻訳
「グループ翻訳」は、最大100人まで同時に、それぞれの言語でメッセージを送れます。



AI通訳アプリ「ポケットーク」
2022年5月にAI通訳アプリ「ポケットーク」(iOS版/Android版)を提供開始。

ソフトバンク株式会社と
キャンペーンの展開で業務提携
ソフトバンクやワイモバイルユーザーを対象に、「ポケットーク」アプリ利用料6ヵ月無料キャンペーンを実施。学生やビジネスパーソン等のグローバルな環境での活躍を後押しすべく、「ポケットーク」に関するキャンペーンを実施しています。

POCKETALK SoftBank

ソフトバンク・ワイモバイルユーザー限定!

AI通訳アプリ ポケットーク
(360円/月(税込))

6ヵ月利用無料

2022年10/31まで

※無料期間終了後は自動解除となります。※通信料は変更される場合がございます。

AI翻訳・字幕ソフト「ポケットーク字幕」



昨今増加しているオンライン上でのコミュニケーションでも「ポケットーク」の翻訳サービスが使えるパソコン用AI翻訳・字幕ソフト「ポケットーク字幕」(Windows版/ macOS版)を本年1月よりポケットーク・ブランドのラインナップに追加しました。「ポケットーク字幕」は、リモート会議での発言を翻訳し、映画の字幕のように表示するソフト。互いにインストールすれば、通訳を介さずにスムーズな会議ができます。



東京03 角田さんを
起用したCM



リモート会議 関連製品

新型コロナウイルス感染拡大防止により、一気に普及したリモート会議のための製品で法人の顧客の開拓を進めています。

会議を、変えよう



2021年6月には、会議のトータル・ブランド「KAIGIO」をスタートしました。



自社開発 「KAIGIO CAM360」

2022年4月には、自社開発のオールインワンの会議用360度webカメラ「KAIGIO CAM360(カイギオカム)」を発売。独自のAIが人物を検知し、会議室にいる人の表情が見えるように、人物を拡大して映し出します。



「ミーティングオウル」



「ミーティングオウル」は、360°カメラ、マイク、スピーカー一体型のリモート会議用ツール。発言者を自動でフォーカスし臨場感のある会議ができます。累計出荷台数は1万5000台を超え、多くの企業に導入されています。

AutoMemo



文字になるボイスレコーダー 「オートメモ」

「AutoMemo(オートメモ)」は、録音した声をAIがテキスト化し、音声ファイルとともに自動でパソコンやスマホに送ります。備忘録や原稿作成を効率化します。

最新型「オートメモS」

2022年1月には、第2弾として「オートメモS」を発売。本体で再生や検索ができるようにさらに進化。

パソコンソフト

テレワークの急速な浸透で、セキュリティやビジネスソフト、さらに学習ソフト、教育ソフトなどの需要が拡大しています。

3ブランドの年賀状ソフト



当社は年賀状ソフトのトップシェア製品「筆まめ」、自社著作の「筆王」、Mac用の「宛名職人」を発売しています。3ブランドのソフトを通じて、大切な人との絆を深めます。

更新料0円のウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」。入れた端末が使えなくなるまで守り続ける製品です。1台に1本、1回入れれば、セキュリティ対策が完了するため、ウイルス対策の負担を大きく軽減します。

発売以来19年連続シェアNo.1「いきなりPDF」



高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は10,000社以上。文書管理の効率アップやコスト削減、テレワークの推進に貢献します。
ソースネクストはBCN AWARD 2004~2022の文書管理ソフト部門を連続受賞 全国主要家電量販店・パソコン専門店・ネットショップのPOS実売統計 (2003年~2021年・株式会社BCN調べ)

パソコンソフト販売本数 7分野でシェア第1位

2021年1月~12月 メーカー別販売本数シェア
「パソコン用ソフト」から「ビジネスからOCR・翻訳/PDF」「教育からPC・ソフト学習」「実用からハガキ/携帯/キーボード」「グラフィックからビデオ編集・DVD関連」を抽出 全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ

IoT製品

AIボイス筆談機 「ポケットmimi」シリーズ

通訳機のポケットmimiを耳の遠い方との筆談をするのに利用されるお客様がいることをヒントに、話した内容を瞬時に大きな文字で表示する2つの専用機を発売しました。



スマートフォンアプリ

大手3キャリアのすべてにアプリを提供

ソースネクストは、スマートフォンの大手3キャリアすべてのアプリ使い放題サービスに採用されています。

提供開始	キャリア	サービス名	提供アプリ数
2012年3月	KDDI(株)	「auスマートパス」	2
2013年6月	(株)NTTドコモ	「スコ得コンテンツ」	15
2014年8月	ソフトバンク(株)	「App Pass」	35

(2021年3月時点)

提供アプリの例



世界初、LINEにも届く留守電サービス



スマート留守電

読める留守番電話サービス「スマート留守電」はその場で内容が読めるだけでなく、メールでもLINEでもメッセージが読め、好評です。

ユーザーサービス

1800万人を超えるご登録ユーザー

当社は、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品を購入し製品登録されたお客様には、アフターサービスとしてバージョンアップやユーザー割引などのリピート購入を促進しています。ユーザー登録数はのべ1800万人を超え、大きな資産となっています。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期 2021年3月31日	当期 2022年3月31日
資産の部		
流動資産	13,465	12,846
うち現金及び預金	4,779	5,451
うち商品及び製品	4,330	4,246
固定資産	6,865	7,134
有形固定資産	105	99
無形固定資産	2,930	3,015
投資その他の資産	3,829	4,019
1 資産合計	20,331	19,981
負債の部		
流動負債	6,538	8,256
固定負債	1,428	1,765
2 負債合計	7,966	10,022
純資産の部		
株主資本	12,152	9,455
その他の包括利益累計額	59	127
新株予約権	151	200
非支配株主持分	—	176
純資産合計	12,364	9,959
負債純資産合計	20,331	19,981
流動比率	205.9%	155.6%
当座比率	104.1%	83.6%
自己資本比率	60.1%	48.0%

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	当期 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
3 売上高	12,851	10,307
売上原価	5,256	5,677
売上総利益	7,594	4,630
販売費及び一般管理費	7,054	6,890
営業利益又は営業損失(△)	540	△2,259
4 経常利益又は経常損失(△)	452	△2,128
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	418	△3,330
法人税等	227	171
5 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	191	△3,502

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	当期 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△639	△330
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,755	△2,938
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	4,271	3,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	119
現金及び現金同等物の増減額	881	671
現金及び現金同等物の期首残高	3,898	4,779
現金及び現金同等物の期末残高	4,779	5,451

ポイント

1 資産合計

3億50百万円減少し、199億81百万円となりました。主な要因は現金及び預金の増加6億71百万円、売掛金の減少5億73百万円によるものです。

2 負債合計

20億55百万円増加し100億22百万円となりました。主な要因はIoT製品の生産や仕入に伴う短期借入金の増加23億円によるものです。

3 売上高

「ポケット」は海外での販売が前期を上回り成長したものの、日本における海外旅行者ならびにインバウンド事業者向けの需要が戻らなかったこと、「ミーティングオウル」の販売が予想を下回ったこと、前期テレワーク特需の反動を主要因として、売上高は前期比19.8%減の103億7百万円となりました。

4 経常損失

販売に注力する製品の選択と集中を行ない、来期販売しないことを決定したIoT製品について、ソフトウェア償却費の一時取込や製品評価損を計上しました。販売費および一般管理費は、今後の事業拡大に対応するための人件費・採用費の増加、システム入替え・自社オンラインショップリニューアルに伴う費用等が増加した一方、広告宣伝費や販売促進費の抑制に取り組みました。その結果、経常損失は21億28百万円となりました。

5 親会社株主に帰属する当期純損失

COVID-19下において複数の投資先で、超過収益力が株式取得時より減少したと判断し、投資有価証券の減損損失を計上しました。また、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、評価性引当額を計上しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は35億2百万円となりました。

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

支出が3億8百万円減少し、3億30百万円の支出となりました。主な要因は、前受収益の減少による支出が3億23百万円減少したこと、法人税等の支払額が6億10百万円減少したことによるものです。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

支出が1億82百万円増加し、29億38百万円の支出となりました。主な要因は、ソフトウェアの取得による支出が3億37百万円増加したことによるものです。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入が4億50百万円減少し、38億20百万円の収入となりました。主な要因は、短期借入金の純増加が10億円減少したこと、連結子会社の第三者割当増資等による非支配株主からの払込による収入が13億82百万円あったことによるものです。

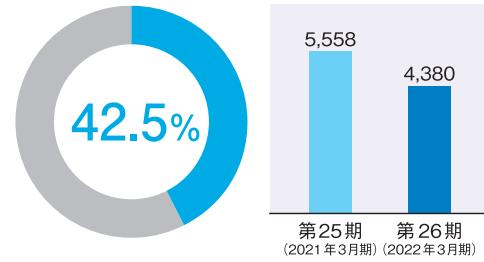
チャネル別概況

自社オンラインショップ

売上高 43億80百万円(前期比21.2%減)

売上高構成比

売上高 (単位:百万円)



当社のwebサイトに併設されたオンラインショップで、IoT製品・ソフトウェア等の販売を行っております。

営業概況・主な施策

- ・世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い国境をまたぐ人の往来が引き続き抑制され、「ポケットーク」のインバウンド及びアウトバウンド需要が戻らず厳しい販売環境
- ・「筆まめ」「筆王」「宛名職人」の年賀状ソフト3ブランドの最新版を発売し、旧バージョンからのアップグレード販売が好調に推移
- ・「セキュリティ」製品については、昨年度のテレワーク特需の反動減や国内のパソコン出荷台数の大幅減による影響を受けた
- ・「ポケットーク」の新たなラインナップとして「ポケットーク字幕」を追加

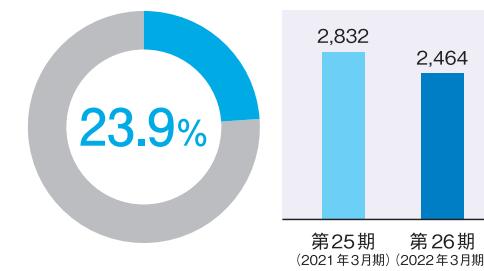


法人営業

売上高 24億64百万円(前期比13.0%減)

売上高構成比

売上高 (単位:百万円)



法人向け「ポケットーク」を始めとするIoT製品並びにテレワーク関連のハードウェアの販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービス等の提供を行っております。

営業概況・主な施策

- ・国境をまたぐ人の往来の抑制や、長引く外出規制などによる出社控えに伴い、「ポケットーク」や「ミーティングオウル」の販売状況は引き続き厳しい状況
- ・ハイブリッドワークが徐々に社会的な広がりを見せ、年度末には「ミーティングオウル」の引き合いが増加
- ・定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売は、一部キャリアの広告枠減少及び取扱い終了に伴い落ち込み

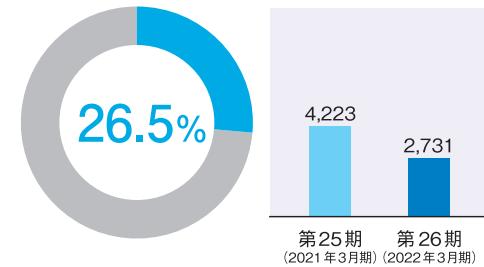


家電量販店

売上高 27億31百万円(前期比35.3%減)

売上高構成比

売上高 (単位:百万円)



主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等の販売を行っております。

営業概況・主な施策

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出規制長期化の影響を受け、店頭販売の実績が全体的に落ち込み
- ・「ミーティングオウル」の販売増施策として「ハイブリッドワーク応援キャンペーン」を実施
- ・「セキュリティ」は、2021年10月に発売した「ZEROスーパーセキュリティ Windows専用版」が好調に推移

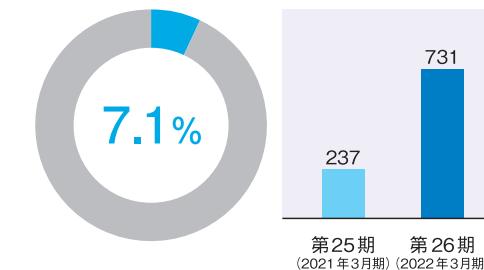


その他

売上高 7億31百万円(前期比208.6%増)

売上高構成比

売上高 (単位:百万円)



米国や欧州の拠点において個人及び法人向けに「ポケットーク」の販売を行っております。

営業概況・主な施策

- ・米国や欧州の「Amazon」を中心に「ポケットーク」の販売が拡大
- ・米国での「ポケットーク」の販売台数好調(前期比234.9%増加)
- ・「ポケットーク」の米国HIPAA(Health Insurance Portability and Accountability Act)への準拠宣言以降、セキュリティの高さに関する認知が高まった



「プライム市場」適合



当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、新市場区分において「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。

小池栄子さんを
新イメージキャラクターに採用

世代を超えて幅広い方々から支持されている小池栄子さんの明るく、パワフルで、信頼感のあるイメージは当社が考えるブランドイメージに合致すると考え、イメージキャラクターに採用いたしました。

ウクライナ避難民への支援で
ポケットークを寄贈

ウクライナから避難された皆様のスムーズなコミュニケーションに少しでもお役に立つことを願い、ポケットークを寄贈しました。在日ウクライナ大使館や、兵庫県をはじめとした国内の受入支援や、ポーランドの国境付近で配布しました。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. AI通訳機「ポケットーク」及び、「ミーティングオウル」を中心としたテレワーク関連製品が好評です

「ポケットーク」は2017年12月の発売以来、累計出荷台数90万台を突破（2021年9月時点）。海外旅行の需要は減ったものの、リモート会議で「ポケットーク」が使えるようになったことや、米国での認知が高まり国内におけるサービスの向上の為に、医療機関や、学校、公共機関等での採用が加速しています。360度AIカメラ「ミーティングオウル」は、2万台の出荷を超え、さらに自社開発の360度カメラ「KAIGIO CAM360」も2022年4月に発売し、テレワーク関連製品を拡充しています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮し利益配分を基本方針としております。2021年3月期は配当性向15%で配当を実施いたしました。しかしながら、当期は35億2百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐと共に、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。前期より株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。保有いただいている株数に応じて、当社サイトでの購入の際にご利用できるソースネクストポイント（特典ポイント）を進呈いたします。

Q. 今後の事業戦略は？

A. 「アフターコロナ」、「ウィズコロナ」を見据え、「ポケットーク」の更なる拡販及び、リモート会議やテレワークに対応した製品を拡充します

新型コロナウイルスの収束後を見据えて、「ポケットーク」の機能拡張、海外での販路拡大を推し進めます。「ポケットーク」は本体不要でソフトウェアのみで翻訳できる「ポケットーク字幕」をリリースし、世界的なブランド認知や、普及をさらに加速していきます。オフィスのテレワーク環境をより便利にする法人向けIoT製品やソフトウェアは今後も拡充し、時代の変化に対応した新製品を投入していきます。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4344

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

検索窓から

kabu@wj.m.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ [MAIL:info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com) [e-株主リサーチ事務局] (2201)